

令和8年度あるかぼーと・唐戸エリアマスタープラン推進業務に係る公募型プロポーザルの評価基準

評価項目	評価の視点	配点			判断基準	評価ランク (5段階評価)	備考	
		大分類	中分類	小分類				
提案内容評価	6.業務内容(1) データ分析に基づく現状把握と取組支援	(データの分析) エリアの現状把握・課題抽出に向けたデータ選定および分析手法の妥当性と、そこから得られる分析結果の有効性	65	5	【仮説】 提案者が現時点で設定しているエリアの課題・要因「仮説」が、的確かつ説得力のある内容か。	A: 優れている B: やや優れている C: 普通(通常想定される程度) D: やや劣る E: 劣る	仕様書:6.(1)【業務1】	
				10	【定量分析】 分析に用いるデータの種類、個数の多さのみで判断するのではなく、 データ選定の根拠 ・分析手法が論理的があり、エリアの課題を客観的に可視化する手段として説得力があるか。	A: 優れている B: やや優れている C: 普通(通常想定される程度) D: やや劣る E: 劣る		
				15	【定性分析】 単なるデータ集計にとどまらず、エリアの課題に対する真の要因を特定し、解決に向けた有効な分析結果が導き得る提案となっているか。	A: 優れている B: やや優れている C: 普通(通常想定される程度) D: やや劣る E: 劣る		
	データ分析に基づく現状把握と取組支援	(分析結果の活用) 分析結果に基づく施策立案・効果検証プロセスの妥当性、本市エリアの資源・プロモーションに関する着眼点の的確さ、および実効性のある伴走支援体制	65	20	【プロセス】 分析結果から「取組の支援・コンテンツの提案・プロモーション戦略」を導き出し、効果検証と改善に繋げる一連のプロセスが、論理的かつ具体的に示されているか。	A: 優れている B: やや優れている C: 普通(通常想定される程度) D: やや劣る E: 劣る	仕様書:6.(1)【業務2】～【業務4】	
				10	【伴走支援の手法】 本市及び準備会に対する具体的な支援方法が、施策の企画立案から実施、効果検証、改善に向けた検討までを伴走支援するものとして、実効的な内容となっているか。	A: 優れている B: やや優れている C: 普通(通常想定される程度) D: やや劣る E: 劣る		
				5	【着眼点】 下関固有の魅力発掘や既存プロモーション等の見直しに向けた現段階での着眼点の的確であり、一時的な話題性に留まらず、実現可能性と継続性を重視する現実的な考え方(アプローチ)が示されているか。	A: 優れている B: やや優れている C: 普通(通常想定される程度) D: やや劣る E: 劣る		
				10	【成果の共有】 分析結果や取組の成果を、準備会が理解し活用できる形に整理し、定例会議等を通じて適切に共有・説明する手法が示されているか。	A: 優れている B: やや優れている C: 普通(通常想定される程度) D: やや劣る E: 劣る		
	6.業務内容(2) 準備会の活動促進に向けた本市への支援	(成果の共有・参画促進) データ分析や取組成果の適切な共有手法と、エリア内事業者の協働参画を促すアプローチの実効性	30	25	【参画促進】 滞在時間の延伸及び観光消費額の向上に資する取組をエリア内事業者に広く周知し、協働による取組への参画を促す働きかけの方法が実効的か	A: 優れている B: やや優れている C: 普通(通常想定される程度) D: やや劣る E: 劣る	仕様書:6.(2)【業務5】	
				5	5	準備会が自ら現状を把握し主体的に取組を実践し、将来的に協働運営を担う組織として発展していくために、組織運営上の留意点や本市による効果的な働きかけのあり方について、現段階での支援の「考え方」や「アプローチ」が論理的かつ妥当に示されているか。		A: 優れている B: やや優れている C: 普通(通常想定される程度) D: やや劣る E: 劣る
		(助言・知見の提供) 準備会の主体的な活動と、将来的な組織発展を見据えた本市への支援(助言・知見の提供)の妥当性	5	5	5	5	仕様書:6.(2)【業務6】	
6.業務内容(3) その他提案書記載事項	当該業務目的達成に向けた、提案者の強みや独自の視点を活かした自由提案	25	20	20	・独自の着眼点や新たな発見があり、課題解決に向けた高い効果が期待できるか。 ・提案者の強みを最大限に活かした、魅力的な提案となっているか。	A: 優れている B: やや優れている C: 普通(通常想定される程度) D: やや劣る E: 劣る又は提案なし	仕様書:6.(3)①	
			5	5	5	5		各業務の工程が具体的かつ現実的に示され、着実な遂行が期待できるか。
組織評価	実施体制	10	5	5	・経験・専門性を持つ人材が適切に配置されているか。 ・統括責任者・現場責任者・担当者の役割分担が適切で、責任・権限の所在が明確であるか。	A: 優れている B: やや優れている C: 普通(通常想定される程度) D: やや劣る E: 劣る	実施要領10(2)② 仕様書6.(3)②	
	履行実績		5	5	5	5	・履行実績が本業務との関連性・適性が認められるか。 ・過去の同種・類似業務の実績数と成果から、本業務を完遂できる組織としてのノウハウと信頼性が認められるか。	A: 優れている B: やや優れている C: 普通(通常想定される程度) D: やや劣る E: 劣る
令和9年度の提案	令和9年度の提案	20	20	10	10	【成果の発展と強みの発揮】 初年度の業務成果を土台に、提案者独自の強みやノウハウをこのエリアでどのように発揮・展開するかの具体的なビジョンが明確に示されているか。 【提案の現実味とコスト感覚】 提案された2年目のビジョンが、非現実的な予算や過大な規模を前提とせず、財源確保の視点(アイデア)も含め、本市において実行できる現実的な提案となっているか。	A: 優れている B: やや優れている C: 普通(通常想定される程度) D: やや劣る E: 劣る	実施要領10(2)④
合計点		150	150	150				

(注)

- 各評価項目についてA、B、C、D、Eの5段階で評価を行う。
評価Aであれば、配点×1.0
評価Bであれば、配点×0.8
評価Cであれば、配点×0.6
評価Dであれば、配点×0.4
評価Eであれば、配点×0.2
- 審査員全員の評価点の総合計が6割に満たない場合は、候補者として選定しない。
- 審査員(5名)のうち2名以上が6割未満を評価した場合、候補者として選定しない。
- 評価(採点)結果が同点の場合の取扱い
審査委員会の委員の多数決により選定する。